

# トラフィック・シムにおける 新型コロナウイルスへの対応について

新型コロナウイルスの感染拡大の状況において、現在弊社では全従業員・家族、関係者の皆様への感染リスクの軽減・安全を確保するために必要な対応策をとっております。当社では、感染状況に応じた事業継続計画を発動し、平常どおりのサービスを継続する努力を行っております。

## 1 非常事態を乗り越えるための会社の財務内容強化

トラフィック・シムでは、2006年開始の内部留保および現預金残高の拡充対策により、今日までに、損益分岐点の25%を超える有事引当金(有税)を含め、強固な財務基盤を作り上げてきました。この後、この財務基盤を基に、現状の1年～2年継続可能性を考慮した事業体制を整えます。

## 2 感染しないため / 感染を広げないための対策

- ・在宅勤務社員：80%
- ・家族構成や通勤経路も含めた検討の上での出社メンバー選定
- ・在宅勤務期間は、現在のところ5月10日までとしております。お客様ご協力の基、不要不急の出張業務や面会がなくなるよう、調整しております。

弊社は、サテライトオフィスや在宅勤務でのリモートワークの試験運用を2017年に開始し、場所に依存しない業務遂行が可能な体制を作っていました。また、各種クラウドサービスや自社開発システムを積極的に取り入れ、業務の効率化を進めています。

### ■導入済みクラウドサービス

業務用チャットアプリ：Slack、Zoom

※ビデオチャットについては、セキュリティ面での課題を念頭に、上記以外にも用途に応じたサービスを並行利用しております。(4月10日追記)

メールおよび各種ドキュメント共有：G-Suite、Office365

開発サポート：Github、プロジェクト管理：Asana、開発基盤：AWS

### ■自社開発システム

ビーコン所在確認システム、利用電力モニタシステム、クラウド対応生産管理システム



## 3 社会の変化に対応するための対策

- ・短時間勤務でも同等の収入が得られるよう、一時的な給与体系変更
- ・保育園や学校、デイケアなどで受け付けてもらえなくなった時のための社員サポート
- ・外国籍社員やその出身国家族のフォロー



## 4 感染してしまったときのための対策

現在の感染拡大の様子を考えると、感染予防だけではなく、自分たちが感染してしまうことも想定しなければなりません。

この場合、被害を最小限に食い止め、社員やその家族の命を守ることが大切です。

- ・感染時の重症化を防ぐため、各社員とその家族の体力温存

- 追加有給休暇の付与を前提とした標準労働時間の短縮による、各自の体力温存
- 社員の健康状態にあわせた配慮の検討と実施  
「日次アンケート」を業務開始時にWEBアンケートによる全社員、同居家族の体調を管理しております。
- 基礎疾患がある社員を把握し、事前に必要な配慮を検討

- ・感染時の一次対応およびバックアップのための業務フローの整備

## 5 会社を成長させるための対策

トラフィック・シムでは、1から4の対策をいち早く実施することで、次の成長に向けた余力が生まれると考えております。

この余力を利用し、事態継続時および事態収拾後に向けた、長期視点での対策を実施中です。

- ・会社費用による、オンライン英会話レッスン(DMM英会話)受講の推奨(社員の約半数が参加)
- ・社員募集人数の増加(当初予定の2倍の人数募集を検討しております。)
- ・在宅勤務で効率化する業務選択と、その業務選択下での収益モデル検討